

第1回 検討会での意見

論点(案)	No.	分類	普及推進の問題点
食品衛生法上、導入に向けた段階的アプローチをどう位置づけるか。	1	一般衛生管理	・一般衛生管理をしっかり実施することが重要であり、国が示しているガイドランが遵守されていない。
	2	一般衛生管理	・一般衛生管理の徹底が必要。
	3	一般衛生管理	・7原則12手順はきちんとやることが重要であり、一般衛生管理を整備することが重要。
	4	一般衛生管理	・メンテナンスができないくらい施設が古くて、それが原因で商品回収になっている事故もいくつかある。HACCPをやる前の前提条件がずれているのではないか。
	5	認証	・HACCPの導入率・認証率を上げていくことが目的ではなく、安全性そのものを向上させることが必要。
	6	認証	・認証にこだわらず、実態として衛生管理ができていれば良いのではないか。
	7	普及推進方法	・日本のHACCPは国際スタンダードから逸脱しているので良くない。独自性を出さず、国際スタンダードにしていくことが大切。
	8	普及推進方法	・普及率を上げるには義務化するのが一番。米国等は義務化と言っても誘導行政である。EUも義務化と言っても域内流通品を適用除外にするなど厳格には運用していない。
	9	その他	・HACCPによる衛生管理は高度であるとの言い方をするが誤解を招く。衛生レベルに高低はない。
	10	総合衛生管理製造過程	・従来のHACCP(マル総並)を導入すると企業が回らない。
	11	総合衛生管理製造過程	・マル総と自治体HACCPとをどのように区分するのか。
	12	自治体HACCP	・自治体HACCPとのレベルをどう整理するか。
	13	行政	・HACCP導入が中小零細企業に伸び悩んでいる原因・背景を突っ込んで考えていく必要がある。

論点(案)	No.	分類	普及推進の問題点
きめ細かい支援の具体的内容とは。	14	メリット	<ul style="list-style-type: none"> ・当事者がメリット・意義を感じる制度でないと上手くいかない。 <ul style="list-style-type: none"> － 対外的に良品質をアピールできる。 － 施設内の他部署との連携が良くなる。 － 原点に立ち返ることで自社製品への理解が深まるとともに、新しい製品開発につながる。 ・中小企業の方が得やすいメリットもある。 ・事業者が自主性を持って、更にメリットを感じながら、HACCPを普及していくために、今までにマニュアルなどをいっぱい作っている団体の力を借りるべき。
	15	メリット	<ul style="list-style-type: none"> ・メリットを超えて、HACCPの導入を検討することが必要。食品衛生の観点から従来の検査に比べ、HACCPによる工程管理が遙かに優れているという根本的な理解を広める必要がある。
	16	事業者	<ul style="list-style-type: none"> ・危害分析には専門的な知識が必要であるが、通常業務に忙しい事業者にとって要員を確保することが困難な中、手間のかかるHACCPの導入は難しい。
	17	事業者	<ul style="list-style-type: none"> ・そもそもHACCPの7原則12手順から無理。 <ul style="list-style-type: none"> － HACCPチームのための人手がない。 － 作業書と現場の作業の齟齬。作業書と現場の作業を合わせることが難しい。 － いろいろな製造品がある中、文献も少なく、自分たちで危害分析をしなければならない。
	18	行政	<ul style="list-style-type: none"> ・研修会や説明会などを地道に開催することが重要であるが、それにプラスして今までの普及施策からもう一歩突っ込んだ施策も必要。
	19	指導	<ul style="list-style-type: none"> ・食品製造業者における指導も衛生管理ではなく施設設備の話になっている。箱物ありきではいけない。
	20	指導	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の実態を生かした創意工夫の余地があるということを普及する必要がある。
	21	啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・一般消費者がHACCPをどれくらい理解できているか疑問。 ・一般消費者と製造者等とのHACCPに対する理解度・認知度が解離しているのではないか。
	22	啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・事業者にとってHACCPの理解が不足しており、ただ書類に追われているだけになっている。 ・HACCPを導入すると安全な食品が作れるという事業者及び消費者の理解が必要。 ・事業者はHACCPの導入にお金がかかる、また手間がかかると思っているので正確な理解が必要。

論点(案)	No.	分類	普及推進の問題点
きめ細かい支援の具体的内容とは。	23	啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・流通・家庭を含め、工程管理の重要性を理解することが必要。 ・若い人の教育が大事
	24	啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の消費者は、検査をしていけば大丈夫という勘違いをしているので、そこからきちんと普及・啓発をしていかなければならない。
	25	事業者	<ul style="list-style-type: none"> ・経済的、技術的な援助が必要。
	26	事業者	<ul style="list-style-type: none"> ・HACCPの導入で書類を書くことが目的となっており、現場で適切な運用ができていない。形式に捕らわれないように運用することが必要。
	27	指導	<ul style="list-style-type: none"> ・認証する側も細かいところまで求めすぎており、そこを改善する必要がある。
	28	指導	<ul style="list-style-type: none"> ・現場で一緒にHACCP導入について考えてくれたり、危害分析やCCPといった専門知識を教えてくれる指導者が必要であり、その人材をどのように増やしていくかも考える必要がある。
メリットをどのように伝えるべきか。	29	メリット	<ul style="list-style-type: none"> ・製造販売事業者への意識改善及び普及啓発が必要であり、継続して行うにはメリット感を出すことが重要。
	30	メリット	<ul style="list-style-type: none"> ・メリットがないと事業者はHACCPを導入しない。本当に広く普及を行うのであれば、メリットを与えることが必要。
	31	メリット	<ul style="list-style-type: none"> ・導入のメリットとしてあげられている品質・安全性の向上について、なかなか見て確認できないので、HACCPマークをつけるなどすれば、そのマークを見て品質が良いと思われる環境をつくることが重要。
その他	32	行政	<ul style="list-style-type: none"> ・本検討会のゴールのイメージを明確にすることが必要。
	33	啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・一般消費者は、HACCPを導入すると食品の安全性がどれくらい上がるのか理解できない。
	34	普及推進方法	<ul style="list-style-type: none"> ・自治体の立場からの意見として、HACCPの普及のために、既存の制度を最大限利用することが良いと思う。